

### 3. 読みましょう

CD6

#### 読むときのポイント

外来語の例に\_\_\_\_\_を引きましょう。そして、筆者は外来語についてどう思っているか、意見が書いてあるところに~~~~~を引きましょう。

2

#### 外来語

僕はアメリカから日本へ来て、もう5年になる。しかし、いまだに外来語が苦手だ。カタカナのことばは僕みたいな外国人には簡単だと思っている人がいるが、とんでもない。まるで宇宙人のことばのようだ。

まず、発音が紛らわしい。日本人は英語と同じだと思っているかもしれないが、全く別のことばとしか思えない。僕自身もそうだけど、ほかの国の友人の中にはコーヒーとコピーの違いがわからない人もいる。

また、使い分けも複雑でよくわからない。初めて日本へ来たころ、レストランで「ご飯、ください」と言ったら、「ライスですね」と言われた。「アドレスは?」と聞かれて、住所を教えたら、相手がびっくりしたこともある。「アドレス」は日本語では「メールアドレス」の意味なんだそうだ。それに「アポ」とか「プレゼン」のようなことばになると、何が何だかわからない。

最近「アイデンティティ」とか「コンプライアンス」などのことばも使われている。日本語でうまく言えないから、使われるのかもしれない。しかし、日本語で言えるのに、外来語を使うのは問題だ。例えば、よく「ポリシー」と言う人がいるが、「考え方」とか「やり方」と言ったほうがずっと正確でわかりやすい場合が多い。

もちろん、僕は外来語に100%反対なのではない。だれでも普通に使っている「シャツ」や「パソコン」などをいまさら変える必要はないと思う。

外来語は日本語になくはないものだが、使いすぎはよくない。「バランス」が取れた使い方を考えなければならないと思う。

